

仙建協と市民みんなの情報マガジン

# フオーサイト

F O R E S I G H T

卷頭特集

## 知りたい！ホントの建設業界 仙台工高の在校生と OBの座談会

〔特別対談〕

仙台市  
仙台建設業協会  
〔企画特集〕  
仙台市市制施行130年／政令市・区政施行30年の歩み  
〔ヨリーズ〕

郡  
深松 和子 市長  
努 会長

現場紹介  
原町東部雨水幹線導水管工事1（佐藤工業・丸鹿JV）  
「フォーサイトドクター」  
身近な命を救うために、救命・急に人が倒れた時の対応

未来へつなぐ 杜の都のまちづくり

(一社)仙台建設業協会

F O  
H O  
I S  
2019 No.63

# 仙建協と市民みんなの情報マガジン フォーサイト

FORESIGHT

## CONTENTS

2019  
No.63

### フォーサイトって何?

仙台市の地域建設業者で組織する仙台建設業協会(仙建協)が発行する無料の地域情報マガジンです。本来の意味は「先見の明」で、「仙建協」との韻を踏んでおり、仙台の未来を見通す内容とする願いが込められています。

### 卷頭特集

## 02 知りたい! ホントの建設業界~仙台工高の在校生とOBの座談会~

特別対談

## 06 仙台市 郡 和子 市長・仙台建設業協会 深松 努 会長

会員の現場紹介

## 10 原町東部雨水幹線導水管工事1(佐藤工業・丸鹿JV)

企画特集

## 11 仙台市市制施行130年/政令市・区政施行30年の歩み

トピックス

## 13 旬の話題あれこれ

フォーサイト・ドクター

## 15 身近な命を救うために~救急救命・急に人が倒れた時の対応~

## 16 仙建協だより

### 【青葉区】

(株)熱海建設  
(株)熱海工務店  
(株)熱海店  
(株)阿部和工務店  
阿部建設  
(株)石井組  
遠藤建設  
奥田建設  
金福建設  
(株)小松建設  
庄子建業  
(株)鈴木建設  
仙建工業  
千田建設  
東北共栄建設  
(株)東北ロンテック  
銅谷建設  
日建工業

### 【橋本店】

東日本コンクリート  
(株)広瀬組  
(株)深松組  
宮環建設  
山川建設  
ワーカー工業

### 【中城建設】

長谷川建設  
(株)丸鹿  
(株)湯田建設  
(株)渡邊舗装工業

### 【日道建設】

ヤマトワーク  
若葉建設  
**【太白区】**  
(株)阿部砂利建設  
河北建設  
(株)柴田建設工業  
(株)ショウエー  
高野建設  
通信道路

### 【泉区】

赤坂建設  
(株)泉工務店  
海道建設  
(株)さとう総業  
東北グレーダー  
中田建設  
(株)柳田組  
丸武建設  
(株)三浦組

### 【黒川郡大和町】

大和建設  
八嶋建設  
(株)吉田工務店

### 【黒川郡大衡村】

(株)松川土木

### 【宮城野区】

栄喜工業  
奥山工業  
鎌田建設  
後藤工業  
伸和興業  
仙台アスコン  
仙台土木建築工業  
(株)高工  
鷹背建設  
(株)丹勝

### 【若林区】

遠藤工業  
遠藤吉照土建  
皆成建設  
(株)加賀  
木皿建設  
栗村建設興業  
サイト工業  
(株)佐元工務店  
仙舗建設  
(株)丹秀工務店  
(株)千葉建設  
東北ニチレキ工事

(一社)仙台建設業協会 会員会社

### ■表紙の写真 東部復興道路と荒浜地区

若林区藤塚と宮城野区蒲生までの約10kmで整備した東部復興道路は「かさ上げ道路」と称され、巨大な津波を盛土で受け止め、まちを守る役目も果たしました。道路の建設には仙台建設業協会の会員企業も多数携わりました。

荒浜地区は東日本大震災の津波で大きな被害を受けました。現在は震災の記憶を後世に伝える「震災遺構・荒浜小学校」が公開されているほか、仙台市が民間事業者により地域交流施設やスポーツ・レジャー施設などで土地を活用する方針を打ち出しました。復興から震災の伝承、新たなまちの賑わい創出へ、さまざまな役割に期待が寄せられています。

がんばろう東北!  
がんばろう仙台!

仙建協は、仙台の復興に全力で挑みます。



フォーサイト 卷頭特集

知りたい！

# ホントの建設業界 ～仙台工高の在校生と OBの座談会～

仙台市立仙台工業高等学校をご存じですか。ことで創立123周年を迎える歴史と伝統ある工業高校であり、約600人の生徒が建築・機械・電気・土木の4科に分かれ、新しい時代を担うエンジニアを目指して日々知識と技術・技能の習得に励んでいます。優れた人材を毎年輩出していて、仙台の建設業界でも数多くのOBが活躍しています。そこで今回は同校の在校生と若手OBによる座談会を企画しました。生徒からは建設業界で働くまでの不安、疑問など普段は聞けない質問が寄せられ、OBは建設業という仕事のやりがい、厳しさ、将来展望などを本音で語りました。

仙台市立仙台  
工業高等学校  
**在校生**

&  
仙台市立仙台  
工業高等学校  
**OB**



**司会** 初めに生徒さんから仙台工業高校に入った動機を含めて自己紹介をお願いします。

**今野(優)** 仙台工高の土木科を卒業した父からいろいろな話を聞いて、土木関係の仕事に就きたいと思いました。部活はラグビー部のマネージャー兼プレイヤーを務めています。

**加藤(祥)** 中学生のころ、仙台河川国道事務所の職場体験に行きダム管理の様子を見せてもらい、面白そうな仕事をと思いました。将来は公務員を目指しています。部活は陸上競技で砲丸投げとハンマー投げを行つており、宮城県総体では砲丸投げで優勝することができました。

**加藤(健)** 父が建設関係の仕事をしており、東日本大震災では人手が不足して大変な様子を見てきました。このため自分が大学に進んで建築をもっと深く広く学び、将来的には施工管理技士になりたいと考えています。部活は軟式野球部で全国大会の出場を目指しています。

**千葉** 中学校でいろんな建物に興味が湧き、珍しい建築物を見てもっと深く知りたいと思うようになりました。将来も建築関係の現場で働きたいです。部活は陸上部で長距離を走っています。

**司会** 次にOBの方々から自己紹介として経験年数、担当している仕事、建設業界に入ったきっかけ、高校時代に熱中していたことをお願いします。



&amp;



OB

**今野(瑞)** 経験年数はことしで4年目で、道路舗装工事の現場代理人を務めています。

最初に復旧したと聞き、最も生活に関わる仕事だと感じて現在の会社に入社しました。部活はバレーボール部で、勉強より部活という学生生活でした。

**木村** 経験年数はことしで8年目となり、土木工事の現場代理人を担当しています。私も東日本大震災を経験して、復興の仕事に携わりたいと思い、高校を卒業してすぐに建設業界に飛び込みました。小学校から高校まで9年間、軟式野球に熱中していました。

**長澤** 経験年数は5年目で、現場主任としてナンバー2の立場で業務に当たっています。宮大工になりたいと思つて高校の建築科に入りましたが、大工の授業を受けるうちに自分の不器用さに気づいて、それを管理する立場で仕事しようと施工管理の道を選びました。部活はソフトテニスをやつていましたが、とにかく顧問の先生が厳しかつたです。ただ、それがあつたおかげで今の自分があると考えています。

**司会** ここからは生徒さんが聞きたいたこと、知りたいことにOBの皆さんのが答える一問一答形式で進めていきます。

**加藤(祥太)** この仕事をやつていて良かったと感じるのはどういうときですか。



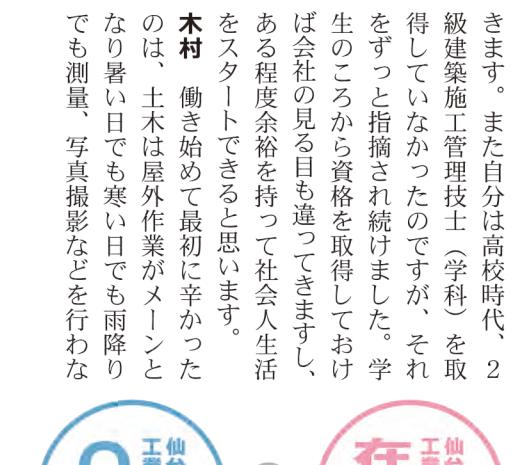
加藤 祥太  
(かとう・しょうた)  
土木科2年

**今野(優)** 初めて社会に出たときに、一番きついと思ったことは何ですか。



今野 優里  
(いののゆうり)  
土木科2年

**長澤** 現場代理人にはリーダーというイメージがあると思いますが、実は現場で作業をしている職人さんの方が主役で、それを作業が順調に進むようレールをつくり、サポートするのがわれわれの仕事だと考えています。トラブルが起こったときに調整したり、愚痴を聞いたりしてあげることが重宝だと思っています。



木村 翔太  
(きむら・しょうた)  
奥田建設(仙台市青葉区)

**木村** 土木の構造物を造り上げるために作業を進めていくと、毎日姿が変わっていきます。次第に完成に近づき、そして完成を迎えた時の達成感は、ほかの業種では味わえないと思います。それがいいところです。

**長澤** 学生のころは授業、宿題など用意されたものをこなしていけば何とかなると思いますが、仕事では経験を積むにつれて、自分で考えて進めていくという責任が出てきます。また自分は高校時代、2級建築施工管理技士(学科)を取得していなかつたのですが、それをずっと指摘され続けました。学生のころから資格を取得しておけば会社の見る目も違ってきますし、ある程度余裕を持つて社会人生活をスタートできると思います。

**木村** 働き始めて最初に辛かつたのは、土木は屋外作業がメインとなり暑い日でも寒い日でも雨降りでも測量、写真撮影などを行わな



**加藤 健太朗**  
(かとう・けんたろう)  
建築科2年

**今野(瑞)** 私は以前、こういう場で話すのが不得意で人前に出るとすぐに緊張するタイプでした。仕事では親の年代と同じぐらいの方々と一緒に仕事をするようになるので、まず話しかけることができませんでした。そこで何をしたらいいかを考えたとき、あいさつが一番大事だと思いました。仙台工高であいさつの重要性を日々から教えていた、だいていたことが生きたのだと思っています。あいさつしていると向こうから話しかけてくれ、半年ぐらいでようやく打ち解けて話せるようになりました。今のうちから、さまざまな機会を捉えて年上の人と話せるようにしておけば就職してからも楽だと思います。

**加藤(健)** 現場に慣れるまで、また仕事にやりがいを感じられるまでには、どれくらいの期間が必要でしたか。



**千葉 茉那**  
(ちば・かんな)  
建築科2年

**長澤** 自分は会社に入つてすぐに職人さんが100人を超える大きな現場に配属されました。右も左も分からず、職種もたくさんあって覚えられない状況でした。何をしたかというと、やはり職人さんとすれ違つたときに「お疲れ様です」などとあいさつすることを心掛けました。久々に学校に来ましたが、みんなあいさつがしつかり出来ているので、これは本当にいいことだと思います。

**千葉** いろんな職人さんと接する上で意見の食い違いなどがあつた場合、どのように対応していますか。

ければならなかつたことです。体力的にはきついことがあるとは思います。野球で鍛えていても精神面を含めて違う辛さを感じました。

私は以前、こういう場で話すのが不得意で人前に出るとすぐに緊張するタイプでした。仕事では親の年代と同じぐらいの方々と一緒に仕事をするようになるので、まず話しかけることができませんでした。そこで何をしたらいいかを考えたとき、あいさつが一番大事だと思いました。仙台工高であいさつの重要性を日々から教えていた、だいていたことが生きたのだと思っています。あいさつしていると向こうから話しかけてくれ、半年ぐらいでようやく打ち解けて話せるようになりました。今のうちから、さまざまな機会を捉えて年上の人と話せるようにしておけば就職してからも楽だと思います。

私も現場に慣れるまでは半年ぐらい要しました。慣れる方法としては上司、同僚、作業員さんとのコミュニケーションを図ることが重要です。仕事の話だけでなく、くだらないような話もして、自分から心を開いていくようにすれば、相手も「こういうやつなんだな」と分かってくれると思います。

**木村** 私も現場に慣れるまでは半年ぐらい要しました。慣れる方法としては上司、同僚、作業員さんとのコミュニケーションを図ることが重要です。仕事の話だけでなく、くだらないような話もして、自分から心を開いていくようにすれば、相手も「こういうやつなんだな」と分かってくれると思います。

私は決まっているので、自分から率先して準備しておくようにしました。相手を思いやる心を持てば、先輩たちも心を開いてくれるはずです。

自分は会社に入つてすぐに職人さんと怒鳴られたんです。それからは、職人さんにも言いたいことは言うようにしました。相手からも反論が返ってくることがあります、それに対応できるような知識を習得するよう努力しました。それによって処理能力が身に付いてくるのだと思います。分からぬことを分からないと素直に認め、そこからがスタートだということです。

3年目に現場所長から「荒波立てないよう穩便に済ませようとしていましたが、入社なやり方では本当のことは見えてこない」と怒鳴られたんです。それからは、職人さんにも言いたいことは言うようにしました。相手からも反論が返ってくることがあります、それに対応できるような知識を習得するよう努力しました。それによって処理能力が身に付いてくるのだと思います。分からぬことを分からないと素直に認め、そこからがスタートだということです。

**今野** 本年度から法律で年5日間の有給休暇取得が義務付けられたため、お盆休みに2日間の有給をつなげました。月に1回は有給を取りなさいとの指導も受けています。残業抑制に向けて、部課長クラスで週に1回程度工程を見直すことにしたら、工事全体会がスムーズに進むようになりました。

**司会** いま産業全体で働き方改革が進められていますが、仕事面で変化はありますか。

**今野(瑞)** さつき言つた通り打ち解けるまで半年ぐらいかかったのですが、その間、周囲を見て自分でできなことを一緒にやることが重要です。何を準備して作業す

**長澤**

自分はもめ事が嫌いなタイプなので、

**木村** 自分も入社当初は意見を言うのが苦手だったので、相手の言うことを鵜呑みにしていました。ただ、そのときの現場所長から「自分の意見をしつかりと言え。対立したら俺がいる。どつちの工法、やり方がいいのか決めるのは俺だから」と言われたのです。自分の思ったことを言った方がいいと思います。

**今野** 自分は意見が対立したとき、どつちの工法が現場を進めやすいかを優先することにしています。例えば3日かかるところを2日で出来る工法があるとすると、それに必要なコストを含めて管理していくのが代理人の役割なので、上司と相談しながら自分なりに判断していくことが重要だと考



**今野 瑞希**  
(こんの・みづき)  
土木科(16年3月卒)  
奥山工業(仙台市宮城野区)

**木村** 働き方改革が打ち出される前は土曜日の出勤が多かったです。いまは第2、第4土曜日が休みとなっています。定時が5時までで残業は1~2時間ぐらいです。その方がメリハリがついて仕事にも身が入

仙台市立仙台  
工業高等学校  
**在校生**

&

**O**  
**B**

仙台市立仙台  
工業高等学校

**司会** 建設業界では女性の活躍推進にも力を注いでいますが、現場ではどう受け止めていますか。

**長澤** 男女で特別扱いしている部分はありません。女性だからといって特別扱いしてしまうと本人の成長に影響を及ぼすと思われます。現場は男性の数が圧倒的に多いですが、みんな女性技術者には優しく接してくれています。会社の活動として月1回、



**長澤 佳祐**  
(ながさわ・けいすけ)  
建築科(15年3月卒)  
深松組(仙台市青葉区)

しているところは土曜日を交代で休み、どうしても2人が出勤しなければならないときは、空いた日や現場が完了した後に休むこととしています。ただ職人さんは日給月給制のため、休めば休んだ分だけ手取りが減ることになります。みんなが休めるよう上げる必要もあるのではないか。うか。

長澤 働き方改革で会社として土日は完全に休みになりました。現場は工期が定められているので、2人で現場管理の仕事を回

**木村** 現在の待遇にある程度満足しています。自分はとにかくお金は二の次で、仕事のやりがいを重視しています。

**今野** 残業分を含めると給料はある程度もらっていると思います。仕事をやつた分だけ給料に跳ね返ってくることはやりがいにもつながります。

**長澤** 大手建設業と地元建設業では給料が大きく違います。それだけを考えるなら大手の方がいいのかもしませんが、大手は仕事が細分化され特定の分野に偏ってしまう恐れも

**加藤(健)** 現在の待遇には満足していますか。

**今野** 現在の待遇には満足していませんが、専門工事業で働く女性の方を現場で見る限り男女の差別はないと思います。力仕事もこなしますし、どうしても無理なところはサポートしてもらう姿を見ていました。現場に女性が入つてもらつた方が活気が出ることは間違いないかもしれません。

**木村** 当社には女性は事務の方しかいませんが、専門工事業で働く女性の方を現場で見る限り男女の差別はないと思います。力仕事もこなしますし、どうしても無理なところはサポートしてもらう姿を見ていました。現場に女性が入つてもらつた方が活気が出ることは間違いないかもしれません。

**木村** 土木の仕事は体力的にきついことが多いですが、やる気さえあれば務ります。トイレや更衣室は女性専用のものを用意しています。今後はもつと平等の環境になっていくと思うので、どんどん飛び込んできてほしいですね。

事務の女性によるパトロールを実施していって、女性の視点から改善点をアドバイスしてもらう活動も展開しています。

あります。地元だと、工事全体を知ることができます。やりたいこととお金を天秤にかけて将来の道を探つてほしいと思います。

**司会** 最後に建設業界の将来はどうなっていくと思いますか。



**木村** 復興は終盤ともいわれていますが、気仙沼市や南三陸町などの沿岸部はまだまだ復興の途上にあります。加えて、台風、地震などの自然災害が多発しているため、建設の仕事が終わることはありません。ICTの活用が進んでいて、仕事のやり方も大きく変わるかもしれません。ICTの活用が進んでいて、仕事のやり方も大きく変わるかもしれません。ICTの活用が進んでいて、仕事のやり方が身に付かないため、新人のころに丁張りの掛け方などを習得しておくことも大事だと思います。

**長澤** 今後は公共工事、民間工事を問わず改修が増えてくると思います。新築に携わりたいと思って改修の仕事を担当することも考えなくてはなりません。AIの登場で一定の職種が消えるといわれていますが、現場代理人の仕事は複雑でAIでは対応しきれないと思います。そういう意味で技術職は無くならない仕事です。

**木村** 復興は終盤ともいわれていますが、気仙沼市や南三陸町などの沿岸部はまだまだ復興の途上にあります。加えて、台風、地震などの自然災害が多発しているため、建設の仕事が終わることはありません。ICTの活用が進んでいて、仕事のやり方が身に付かないため、新人のころに丁張りの掛け方などを習得しておくことも大事だと思います。

郡 和子 市長  
仙台市

# 市民協働で 復興の次の ステージへ

深松 努 会長  
仙台建設業協会

東日本大震災から2020年3月で丸9年を迎える仙台市。11月には東部復興道路（かさ上げ道路）が完成するなど、まもなく復興事業が完了しようとしています。その一方で、10月に宮城県内でも甚大な被害を出した台風19号のような災害が頻発化・激甚化しており、災害からまちを守る取り組みが全国的な課題になっています。仙台建設業協会は災害に素早く対応するため、同時に被災する可能性が低い静岡県浜松市の建設業協会と協定を結ぶなど備えに力を入れています。そこで今回は、就任3年目を迎えた郡和子市長と仙建協の深松努会長が、都心の再構築や生活基盤を支えるインフラ（社会資本）の管理などを中心に、仙台市の目指すべき将来像を語り合いました。

談

別



## インフラの予防保全で 市民の安全・安心守る



■郡和子（こおり・かずこ）

1957年3月31日生まれ、仙台市出身。1979年に東北学院大学経済学部卒業後、同年に東北放送入社。2005年に民主党から衆議院議員選挙に出馬し初当選。内閣府大臣政務官、復興大臣政務官などを歴任。衆議院東日本大震災復興特別委員会筆頭理事を経て、17年8月に仙台市長就任。

郡 和子（こおり・かずこ） 仙台市では、インフラがどのような状況にあるのかを把握し、先手を打つて対策していく予防保全を取り組んでいます。そのような中で、建設業の皆さん

郡 10月の台風19号被害では、建設業の皆さんに迅速に対応していただきました。市内では人的被害や浸水被害、法面の崩落が起きたほか、当初は10月19日に予定していた東部復興道路の開通も、法面に被害を受けて11月30日に延期せざるを得なくなりました。

深松 台風被害に地域建設業者が延べ200社1900人ほどで対応しました。まずは応急対応で危険の芽を摘むことが最優先で、その後にしつかりと対策を講じていかなければなりません。

郡 市は2011年度から15年度までの5年間を計画期間とする復興計画を立てました。その間、被災者の生活再建を優先しつつ概ねハード事業を完了し、残すところは蒲生北部の土地区画整理事業となっています。国が定めた「復興・創生期間」の終了も近づいてまいりましたが、国には事業終了までしっかりと措置していただけるようお願いしています。

深松 ハード面の復興が終わるとしている一方、市内にある橋梁やトンネル、地下通路といったインフラの保全や、老朽化対策も課題になつていています。市は施設の種別ごとに長寿化計画を策定していますが、これらも安全・安心なインフラを維持していく上での対策はどうのように講じているのでしょうか。

郡 あと20年経てば、完成から50年が経過する橋などは、全体の約8割にも及びます。これらを健全に維持していくことは大変大きな課題です。過去には施設の老朽化が原因とされる箇所トンネル天井板落下事故も起きています。

郡 建設業を担う人材の育成が重要と認識しています。われわれも子どもたちが小さい段階から地域建設業の役割と大切な理解を深めていたく取り組みがもつと必要ということで、地元の建設業団体の協力を得て2017年度から親子現場見学会を開催しています。

深松 11月3日には宮城県と共に建設ふれあいまつりを開催したところ大勢の人々が訪れ、皆さん興味は持っているということが分かりました。

郡 その興味を持続させて、建設業界に入つていただくことが重要ですね。加えて、建設業界での働き方改革といった課題もあるでしょう。各社で取り組みを検討されているかと思います。行政も適正な工期で発注するなど対策を進めてまいります。深松会長には、今後も学校の授業で建設業の役割を発信していく取り組みを継続してほしい

郡 あらためて地元の建設業の役割を認識しました。

深松 東日本大震災からの復旧・復興事業がようやく終わろうというタイミングでの被災でした。復興に関しては、仙台市は東部復興道路（かさ上げ道路）の完成により、ハード面の復旧・復興が完了しようとしています。これまで歩みを振り返ってみて、いかがでしょうか。

深松 ハード面の復興が終わるとしている一方、市内にある橋梁やトンネル、地下通路といったインフラの保全や、老朽化対策も課題になつていています。市は施設の種別ごとに長寿化計画を策定していますが、その時にも安全・安心なインフラを維持していく上での対策はどうのように講じているのでしょうか。

郡 あと20年経てば、完成から50年が経過する橋などは、全体の約8割にも及びます。これらを健全に維持していくことは大変大きな課題です。過去には施設の老朽化が原因とされる箇所トンネル天井板落下事故も起きています。

## 民間の力による 都心の賑わい創出を支援

**深松** 仙台市は老朽建築物の建て替え促進などを目的に「せんだい都心再構築プロジェクト」を打ち出しました。

今後の展開などをお聞かせください。

**郡** 仙台市の都心部には旧耐震基準で造られたものが多く、更新していかなければなりません。同時に、IT企業の誘致も進めているので、高機能オフィスの整備も進めていく必要があります。

このプロジェクトでは賑わいあるまちづくりを実現するために、①東北をけん引するイノベーションが生まれる都心②東北の交流拠点となる新たな賑わいを創り出す都心③杜の都の個性が活きる都心―の都心の三つの将来イメージを示しています。それらの実現に向けた第1弾が、「仙台市都心部建替え促進助成金制度」といった補助メニューの創設と、高機能オフィスの容積率の緩和です。

**深松** こうした支援策に関心を持つ企業も多いかと思いますが、面積要件などが課題になるかと思います。

**郡** 現在、第2弾のメニュー作成に向けて調査をしていますが、市民からの声に耳を傾けながら、目指す方向性へ共に進んでいきたいと思います。

**深松** 建設の視点で見ると、仙台は地震にも災害にも強い「スーパー耐震シティ」と考えていました。東日本大震災の時も、津波で多くの方が犠牲になつたものの、建物の倒壊による犠牲者は出ませんでした。今、東京の企業は関東での大地震に備え、どの都市にバ

ックアップ拠点を構えるか検討しており、仙台市はそれを見合う都市だと私は考えています。

**郡** リスク分散の観点から、仙台に新たな拠点を設けてもらえるよう企業にPRしています。その受け皿としても中心市街地を再整備していく必要があります。また、市有施設をどのようにしていくかも課題となつて

おり、ダイナミックに転換させていく曲面に差し掛かっていると考えています。市役所本庁舎の建て替えも議論を進めていますが、分散している庁舎をどのようにするのかが課題です。計画を練つていく段階で、市民の皆さんのがニーズに合うかも含めてお話を聞かせてもらわなくてはならないでしょう。

## 災害対応力向上で まちを強靭化

**深松** 仙台市は現在、2021年度から30年度までの新総合計画の検討も進



めています。この中には東日本大震災を踏まえた防災環境都市の構築も検討されています。災害対応力を高める上で、地元建設業が果たす役割として期待していることをお聞かせください。

**郡** 現在、総合計画の策定とともに、都市計画のマスター・プランを議論していることがあります。建設業の皆さんには、いだいています。建設業の皆さんには、特に近年は、大雨の被害が日本各地、広範囲で起きています。こうした中で、地元建設業が果たす役割として期待していることをお聞かせください。

か聞かせていただければと思います。特に近年は、大雨の被害が日本各地、広範囲で起きています。こうした中で、仙台建設業協会は静岡県の浜松建設業協会と協定を結び、被災していないほうが救援するという協定を結んだと伺っています。こうした動きは行政としても大変ありがたく思います。

**深松** 防災力を高めるには、われわれだけでは限界があります。30年周期で仙台にまた地震が来ると考えていても、市内の業者や市の技術者が今より減っている可能性がありますが、それでも今と同じ地域を守らなくてはなりません

ん。仙建協と浜建協は協定後も議論を重ね、救援時の宿泊場所を確保するため、それぞれが市内の宿泊業者と協定を結びました。また、燃料も東京から域に対しても貢献していくことが、まちの強靭化に結び付いていくと思います。

**郡** 震災時に知見を積み重ねた宮城の皆さん、そして東北の皆さんが他の地域に対しても貢献していくことが、まちの強靭化に結び付いていくと思います。

**深松** まちの強靭化という考え方では、オフィスビルだけでなくマンションも現耐震基準前の物件が約200棟あり、その多くが中心部に位置しているほか、入居者の高齢化という問題も抱えています。そこで、商工会議所のまちづくり委員会の中でも提案しましたが、老朽化マンションの建て替えに際し、容積率を2倍に緩和するというのはいかがでしょうか。市内で不足している保育所や介護施設の併設を条件に、10階建てのマンションを建て替えに合わせて20階建てにするなど、容積率を緩和することによって建て替えを促進するのです。

建て替えた複合施設は免震マンションとすれば、市の防災力も向上します。建て替えの間は、市営住宅の空き部屋を活用し、仙台市の家賃収入とするところなども考えられるでしょう。

**郡** 市内それぞれのエリアでどのような取り組みが求められているのか、何が行政として後押しできるのかを検討していきたいと思います。高齢化と人口減少が叫ばれる中、今は高齢者に元気に過ごしてもらうための施策と、学生の関東圏への流出を防ぎ定着してもらう取り組みなどを総合的に進める計

画を作成する段階となっています。

## 地域と連携しながら より良い仙台に



**深松** 市はことしで市制130周年を迎えた。今後の仙台の将来像と、実現に向けた施策をお聞かせください。

**郡** 就任から2年が経過ましたが、この間、まちの主役は市民という観点で市政を運営してきました。地域の皆さんの知恵をお借りしながら、市民協働、公民連携の姿勢でさまざまな課題解決を目指していきます。

**深松** 仙台市内の建設業が中心となり、17年3月に「杜の都建設協同組合」を立ち上げました。今、若林区役所と議論し、地域の皆さんとハザードマップを作ろうという話も進んでいます。われわれ建設業は防災のプロ。そして地域に詳しいその場所の皆さんと共に二子を把握し、次の災害で被害が起きないようになるのが防災です。私は日本各地で200回以上講演してきたのですが、災害の備えに関して「仙台はすごい」という感想を聞くことが多いです。防災力を高めてより良い仙台づくりに貢献したいと考えています。

**郡** 都心再構築と合わせて、仙台の経済活性化に向けた施策に取り組むなど、まだまだやるべきことはたくさんあります。復興の後のステージに向けて、東北唯一の政令指定都市として、仙台市がしっかりととしたまちにならなければと考えています。防災力向上も含め、建設業の皆さんのお力を借りする必要があるとあらためて認識しました。

# 地下水の管路で 浸水被害を軽減

- 工事名 II原町東部雨水幹線導水管工事1
- 施工者 II佐藤工業・丸鹿JV

近年、大雨による冠水の被害が全国各地で毎年のように発生しています。仙台市ではそうした被害を防ぐため、低地である東部地区を中心に、雨水を流す管路の工事を進めています。今回紹介する「原町東部雨水幹線導水管工事1」は、既存の水路などから水の流れを分けて、バイパス幹線に導くための管路を整備しています。

工事では、延長は642mの管路と、雨水を地下に落とし込む特殊人孔などのマンホール7カ所を施工。工事は佐藤工業・丸鹿JVが担当しています。

佐藤工業東北支店の牧野所長(左)と丸鹿の相澤進也課長

現場の地上には、住宅や店舗、道路などがあるため、地中を掘り進むトンネル掘削機・ミニシールドマシンを使用。シールドマシンは円筒形の機械で、地中を掘り進めながらセグメントブロック(トンネル壁)を組むことで、掘削と同時にトンネルの壁面を構築します。この工事ではR15m、R10mという直角に近いカーブが2カ所ありますが、シールドマシンは四つのプロックで構成しており、こうしたカーブも掘ることができます。トンネル内部でセグメントを組む役、資



トンネル内部



シールドマシンで整備した導水管



ミニシールドマシン

牧野所長は「原町東部地区の浸水被害を軽減する工事であり、近隣住民の皆さんからの期待を背負つての工事なので、安全でしっかりととした作業で完成させたいです」と意気込みを示しています。

機材を運ぶ車両を運転する役、クリーンを操作する役の計4人で施工できます(実際にはそのほかに施工管理や地上設備の運転などの人員が必要です)。

現場を束ねる牧野總所長によると「地中には粘土に近い砂質シルトと、砂れきの層があります。砂質シルトは柔らかいので掘りやすいものの、

# の歩み

元号	西暦	できごと
45	1970	徳島市と観光姉妹都市提携 公害市民憲章制定 仙台卸商団地完成
46	1971	仙台港開港
48	1973	市の花(ハギ)、木(ケヤキ)、鳥(カッコウ)、虫(スズムシ)を決定 「杜の都の環境を作る条例」制定 ミンスク市(現ベラルーシ)、アカブルコ市(メキシコ)と姉妹都市提携 ガス局港工場操業開始 市民会館開館 新中央卸売市場開場
49	1974	「広瀬川の清流を守る条例」制定
50	1975	東北自動車道(岩槻～仙台南)供用開始 仙台市民ギャラリー開館 宇和島市(愛媛県)と歴史姉妹都市提携
51	1976	鶴ヶ谷オープン病院開院 市電廃止 東北自動車道泉インターチェンジ開通
52	1977	新仙台駅開業
53	1978	彫刻のあるまちづくりスタート 宮城県沖地震(M7.4)発生、仙台で震度5、死者13名(6月12日)
54	1979	「防災都市宣言」 歴史民俗資料館開館 瑞鳳殿落成
55	1980	新市立病院完成 長春市(中国)と友好都市提携
56	1981	地下鉄工事着工 戦災復興記念館開館 白老町(北海道)と歴史姉妹都市提携 仙台南部道路(長町～山田)供用開始
57	1982	東北新幹線開業(盛岡～大宮)
58	1983	仙台西道路開通(広瀬通～仙台宮城IC)
59	1984	仙台市体育館開館
60	1985	東北新幹線上野駅乗り入れ テレトビア・モデル都市指定
61	1986	新博物館開館 台風10号豪雨被害 第1回「SENDAI光のページント」開催
62	1987	地下鉄南北線開業(八乙女～富沢) 未来の東北博覧会開催 宮城町を編入
63	1988	泉市、秋保町を編入(人口88.8万人) 国際コンベンション・シティ指定

## 〔平成時代〕

元	1989	政令指定都市に移行、人口89.6万人(4月1日) 市制施行100周年 '89グリーンフェアせんだい開催 <b>仙台建設業協会創立</b>
2	1990	仙台空港初の国際定期便(ソウル便)就航 青年文化センター、新科学館、こども宇宙館開館 インターハイ開催
3	1991	東北新幹線、東京駅乗り入れ 「情報公開条例」制定 市立病院救急センター、仙台サンプラザ、広瀬文化センター、 仙台国際センターが開館 第1回仙台ハーフマラソン大会開催
4	1992	シルバーセンター、健康増進センター開館 全国生涯学習フェスティバルまなびピア'92開催
5	1993	地下鉄南北線、泉中央駅まで延伸 若林区文化センター開館



▲仙台市地下鉄南北線泉中央駅開業(1992)

元号	西暦	できごと
6	1994	仙台東部道路(仙台東～仙台空港)供用開始 仙台南道路(長町～仙台若林JCT)供用開始 福祉プラザ開館
7	1995	仙台都市総合研究機構設立 杜の都の風土を育む景観条例制定 「若い音楽家のためのチャイコフスキーオンコクール」開催 リサイクルプラザ開館
8	1996	「環境基本条例」、「ひとにやさしいまちづくり条例」制定 地底の森ミュージアム(富沢遺跡保存館)開館
9	1997	仙台スタジアムオープン 国際ゆめ交流博覧会開催 LNG基地完成、タンカー初入港 仙台空港ターミナルビル全面オープン ダラス市(アメリカ合衆国)と友好都市提携
10	1998	情報・産業プラザオープン 新武道館・青葉体育馆開館 江沢民中国国家主席来仙 仙台空港の3,000m滑走路供用開始
11	1999	仙台文学館開館 人口100万人達成(5月11日) 市民活動サポートセンター設置 太白区文化センター開館
12	2000	仙石線地下新線開業・あおば通駅開設
13	2001	仙台開府400年 せんだいメディアテーク開館 第1回仙台国際音楽コンクール開催 仙台東部・南部道路全線開通
14	2002	環境フォーラム仙台2001・環境国際会議開催
15	2003	光州広域市(韓国)と国際姉妹都市提携
16	2004	仙台城跡国史跡指定 第1回グリーン購入世界会議開催
17	2005	オウル市(フィンランド)と産業振興協定締結都市提携
18	2006	台南市(台湾)と交流促進協定締結都市提携 仙台郡山官衙遺跡群国史跡指定
19	2007	仙台空港アクセス鉄道開業(仙台～仙台空港) 地下鉄東西線着工
20	2008	元気フィールド仙台オープン 新天文台開館 仙台・宮城デスティネーションキャンペーン実施
21	2009	仙台青陵中等教育学校、仙台大志高創立 仙台商業高と仙台女子商業高が統合
22	2010	仙台北部道路開通 2010年日本APEC第3回高級実務者会合等を開催 東北新幹線全線開通(新青森駅開業)
23	2011	東日本大震災(M9.0)発生(3月11日)宮城野区で震度6強死者979名、全壊建物30,034棟(2013年9月現在) 東北六魂祭開催 能-BOX開館
24	2012	宮城野区文化センター開館 ねんりんピック宮城・仙台2012開催
25	2013	国宝「慶長遣欧使節関係資料」がユネスコ記憶遺産登録 東北楽天ゴールデンイーグルス日本一
26	2014	泉岳自然ふれあい館、子ども体験プラザ「Elem」開館 市立病院が移転開院
27	2015	第3回国連防災世界会議開催 地下鉄東西線開業(八木山動物公園～荒井)
28	2016	せんだい3.11メモリアル交流館開館 北海道新幹線開業(新青森～新函館北斗) 「政宗が育んだ“伊達”な文化」が日本遺産認定 G7仙台財務大臣・中央銀行総裁会議開催
29	2017	震災遺構 仙台市立荒浜小学校公開 東北絆まつり開催 世界防災フォーラム開催
30	2018	消防航空隊新庁舎開所 海岸公園全面オープン

## 〔令和時代〕

元	2019	市制施行130周年、政令指定都市・区制移行30周年 東部復興道路全線開通
---	------	---

# 輝ける杜の都の魅力と誇り次世代に 仙台市市制施行130年 政令市・区政移行30年

仙台市は本年、市制施行130年を迎えました。

仙台市は1600年（慶長5年）に初代仙台藩主・伊達政宗公によって築かれた城下町を礎としています。以降、時代の変化とともにまちは大きな変貌を遂げてきましたが、通りや町割などは城下町の名残りをいまに伝えています。

1889年（明治22年）の市制施行で仙台市は誕生しました。続いて司法・運輸・通信・軍事等の地方統括国家機関や、東北帝国大学に象徴される教育・研究機関の立地によって「治府」「学都」としての役割を担ってきました。

また戦後の戦災復興事業やその後の都市計画事業で、市街地の緑化を積極的に推進したまちづくりが行われ、豊かな自然と高度な都市機能が調和する「杜の都」として知られるようになりました。

市制施行100年となった1989年（平成元年）には東北地方初の政令指定都市に移行。1999年（平成11年）には人口100万人を突破しました。

2011年（平成23年）の東日本大震災では甚大な被害が発生しましたが、防災集団移転が完了したほか東部復興道路（かさ上げ道路＝約10km）も全線開通するなど、復興とその先の新たな時代に向け前進を続けています。

市制施行130年と政令市・区政移行30年を祝い、7月には仙台国際センター（青葉区）で記念式典が行われました。郡和子市長は「私たちが愛してやまないこの杜の都・仙台の魅力を磨き上げる数々のチャレンジを、市民協働で進めていきたい」とあいさつしました。詰め掛けた市民からは万雷の拍手が沸き起こり、誇りあるまちと文化を次世代に継承しようと誓いました。



記念式典では詰め掛けた多くの市民が市制130年を祝いました（仙台国際センター＝7月1日）

# 仙 台 市

元号	西暦	できごと
〔明治時代〕		
22	1889	市制施行、仙台市誕生（人口86,352人）
24	1891	東北本線全線開通
27	1894	市内に初めて電灯がともる
33	1900	市内に電話開通
40	1907	東北帝国大学創立
42	1909	仙台瓦斯株式会社創立（1941年市営化）
〔大正時代〕		
8	1919	仙台市街自動車株式会社創立
9	1920	第1回国勢調査
12	1923	市営上水道、給水を開始
15	1926	市電開通
〔昭和時代〕		
3	1928	NHK仙台放送局ラジオ放送を開始 長町、原町、七郷村南小泉を編入
4	1929	仙山線仙台～愛子間開通
5	1930	市立病院開院
6	1931	七北田村荒巻、北根を編入
7	1932	西多賀村を編入
8	1933	市の紋章制定
16	1941	中田村、六郷村、七郷村、岩切村、高砂村を編入
17	1942	市営バス営業開始
20	1945	仙台空襲で市中心部全11焼被災戸数約1万2,000戸、死者約1,000人
21	1946	仙台市戦災復興都市計画土地区画整理決定
22	1947	地方自治法公布により、市町村長公選が行われる
25	1950	市教育委員会発足 宮城球場開場
29	1954	野草園開園
30	1955	天文台開台
31	1956	NHK仙台テレビ局開局 生出村を編入
32	1957	リバサイド市（米国）と姉妹都市提携 仙台空港開港
34	1959	水道事業起工式挙行
▲1950年代の仙台駅前		
▲1959年の市制70周年式典		
36	1961	戦災復興事業完了 仙台市博物館開館 大倉ダム完成、貯水を開始
37	1962	「健康都市宣言」 市民図書館開館
39	1964	仙台湾臨海地域が新産業都市に指定される 南蒲生下水処理場完成
40	1965	八木山動物公園開園 市役所庁舎完成
41	1966	仙台バイパス供用開始 人口50万人を突破
42	1967	竹田市（大分県）中野市（長野県）と音楽姉妹都市提携 レンヌ市（フランス）と姉妹都市提携
43	1968	科学館開館
▲1959年の中央通・東五番丁付近		



## 仙台駅直結の新オフィスビルが誕生へ

JR仙台駅東口のすぐそばに新たなオフィスビルが誕生します。JR東日本仙台支社がライブホール「Z e p p S e n d a i」跡地に、(仮)仙台駅東口オフィスとしてS一部SRC造地下1階地上13階建て、延べ2万5669・03平方mの規模で建設を進めており、2020年度冬の開業を目指しています。



(仮)仙台駅東口オフィス

建設地は、JR仙台駅と東口ロータリーに挟まれホテルメトロポリタン仙台イーストの北側隣接地に位置する、仙台市宮城野区榴岡1の11の7ほか地内および仙台市青葉区中央1の100の6ほか地内。JR仙台駅東西自由通路からS-PA-L東館を経由してアクセスで

きるため、雨天時にも濡れることが多く入館できる利便性があります。

日本仙台支社がライブホール「Z e p p S e n d a i」跡地に、(仮)仙台駅東口オフィスとしてS一部SRC造地下1階地上13階建て、延べ2万5669・03平方mの規

模で建設を進めています。2020年度冬の開業を目指しています。

仙台駅東口では、17年6月に駅直結の「ホテルメトロポリタン仙台イースト」が開業しているほか、家電量販店大手の「ヨドバシカメラ」がホテルや商業施設などで構成するビルの建設を計画しており、さらに大きく活性化する可能性を秘めています。

仙台駅東口では、17年6月に駅直結の「ホテルメトロポリタン仙台イースト」が開業しているほか、家電量販店大手の「ヨドバシカメラ」がホテルや商業施設などで構成するビルの建設を計画しており、さらに大きく活性化する可能性を秘めています。

県民会館は、仙台市内中心部の定禅寺通りに面した場所に、1964年9月に開館しました。SRC造地下1階地上6階建ての建物で、内部には1590席の大ホールや大・中・小会議室などを備え、宮城県の芸術活動の拠点施設として多くの県民に親しまれています。

しかし、老朽化の進行とともにこれまでたびたび改修を重ねてきたこととに加え、利用者からも▽ロビーが狭い▽敷地内に駐車スペースがないといった課題が指摘されていました。こうした点を踏まえ県は、2月に有識者会議を設置し今後の



現在の県民会館

## 宮城県民会館建て替えへ議論本格化

宮城県民会館（東京工レクトロンホール宮城）の建て替えに向けた検討が本格化しています。交通アクセスの良い仙台医療センター跡地（仙台市宮城野区）を移転の最適地として、最大2300席規模の劇場型大ホールを備えた施設に生まれ変わろうとしています。

県民会館は、仙台市内中心部の定禅寺通りに面した場所に、1964年9月に開館しました。SRC造地下1階地上6階建ての建物で、内部には1590席の大ホールや大・中・小会議室などを備え、宮城県の芸術活動の拠点施設として多くの県民に親しまれています。

しかし、老朽化の進行とともにこれまでたびたび改修を重ねてきたこととに加え、利用者からも▽ロビーが狭い▽敷地内に駐車スペースがないといった課題が指摘されていました。こうした点を踏まえ県は、2月に有識者会議を設置し今後の

地域の再生を目指します。鶴ヶ谷第二市営住宅団地は、宮城野区鶴ヶ谷6丁目地内の約16・2haに、1970～73年度にかけて整備されました。

今回の再整備は、東日本大震災以降に整備した2棟を除く58棟（約1570戸）の老朽化が進んでいることに加え、鶴ヶ谷地域全体が高齢化して地域活力が低下しているという状況を踏まえて、建て替えによる居住環境の改善と、集約再編で生じた余剰用地の有効活用を図るもので。

事業期間は2034年までを想定し、解体工事の着手は第1工区（18棟）が21年度中ごろ、建設工事は第1工区（2棟）が22年度中ごろからを見込んでいます。

## 鶴ヶ谷第二市営住宅の再整備計画進む

仙台市は、老朽化が進む宮城野区の「鶴ヶ谷第二市営住宅団地」を再整備する計画を進めています。58棟の市営住宅を建て替え、現在よりも高層化して10棟（1042戸）に集約する方針です。これにより、高齢化が進む地域の再生を目指します。

鶴ヶ谷第二市営住宅団地は、宮城野区鶴ヶ谷6丁目地内の約16・2haに、1970～73年度にかけて整備されました。

今回の再整備は、東日本大震災以降に整備した2棟を除く58棟（約1570戸）の老朽化が進んでいることに加え、鶴ヶ谷地域全体が高齢化して地域活力が低下しているという状況を踏まえて、建て替えによる居住環境の改善と、集約再編で生じた余剰用地の有効活用を図るもので。

事業期間は2034年までを想定し、解体工事の着手は第1工区（18棟）が21年度中ごろ、建設工事は第1工区（2棟）が22年度中ごろからを見込んでいます。



仙台市鶴ヶ谷第二市営住宅



## 台風19号対応に仙建協が尽力

10月12日、大型で強い勢力を保つまま伊豆半島に上陸した台風19号は、記録的な豪雨と暴風により東日本各地に甚大な被害をもたらしました。10月30日時点で全国の死者・行方不明者数は100人を超え、堤防・道路をはじめとしたインフラや、住宅・建築物も数多く被害を受けました。



泉中央3丁目地区の道路法面崩落現場

丁目地区での道路法面崩壊、双葉ヶ丘地区での土砂崩れなどが発生。11月1日時点では、死者・行方不明者3人、床上浸水191棟、床下浸水185棟、道路冠水173件（解消含む）、がけ崩れ92件などの被害が確認されています。

市がハーデ面での復興の総仕上げと位置付ける東部復興道路（かさ上げ道路）は、法面がはがれ落ちているところが見つかってたため、10月19日に予定していた開通が11月30日へと先送りとなってしまいました。

こうした中、仙台建設

業協会では、会員企業が排水作業や応急復旧に力を尽くしてきました。10月31日までの集計では、国・県・市町村から計200件の出動依頼を受け、延べ1905人がダンブトラック295台、バックホウ175台、水中ポンプ32台、ホイールロード15台などを使って作業に当たりました。

## 東部復興道路が完成

仙台市が整備を進めていた東部復興道路（かさ上げ道路）が、11月30日に全線開通しました。東日本大震災の津波被害を教訓に、高さ約6mの盛土によって、海岸堤防、海岸防災林とともに多重防護で津波からまちを守る役割を担います。

東部復興道路は、若林区藤塚から、宮城野区蒲生までの約10kmの区間で、県道塩釜亘理線にほぼ並行して整備。震災時と同じ規模の津波でも、道路より内側の波の高さは家屋の流出を免れるとされる2mまで抑制できます。



荒浜交差点から見た復興道路

まな工夫を凝らして建設しています。道路の下を横切る水路には、津波が遡上しないよう、流れに応じて無動力で遮断する扉付きのゲートを設置。交差する道路は復興道路の盛土を突き抜けるのではなく、平面交差としています。

こうした中、仙台建設業協会では、会員企業が排水作業や応急復旧に力を尽くしてきました。10月31日までの集計では、国・県・市町村から計200件の出動依頼を受け、延べ1905人がダンブトラック295台、バックホウ175台、水中ポンプ32台、ホイールロード15台などを使って作業に当たりました。

東北では、特に宮城県内の吉田川や福島・宮城県内の阿武隈川などの決壊により、広い範囲で市街地・農地が浸水し、そこで暮らしてきた住民の多くは不自由な生活を強いられています。仙台市内でも、旧笊川（ざるがわ）のはん濫、泉中央3

## 宮沢根白石線・浦田工区が開通

ことし6月29日に、都市計画道路・宮沢根白石線の浦田工区が開通しました。これにより、泉区南光台地区と市内北西部を通る国道4号仙台バイパスが接続。開通後、近隣地域から市内中心部へのアクセス性向上や、生活道路の交通環境改善に大きな役割を果たしています。

宮沢根白石線は、仙台市若林区舟丁で広瀬川に架かる「宮沢橋」を起点に、泉区寺岡までを結ぶ延長約20・3kmで、市が優先的に整備を進める骨格幹線道路として計画されています。このうち浦田

道路は幅10mで、通常は片側一車線ずつの2車線道路として使用し、緊急時は上下線の間を緊急車両が通行できる幅を確保。高規格な道路の完成により、仙台港と仙台空港とをより短時間で結ぶ効果にも期待が寄せられています。



区間内の南光台トンネル

また、既存の県道や市道と復興道路とを結ぶ避難道路も建設し、災害時の地域住民の円滑な避難を可能にします。建設に当たっては、リサイクルの観点から、盛土の材料の約4割に震災がれきと津波堆積土を混ぜたもの

道路は幅10mで、通常は片側一車線ずつの2車線道路として使用し、緊急時は上下線の間を緊急車両が通行できる幅を確保。高規格な道路の完成により、仙台港と仙台空港とをより短時間で結ぶ効果にも期待が寄せられています。

宮沢根白石線の仙台バイパス交差点から、同区南光台6丁目の都市計画道路鶴ヶ谷中山線交差点までの延長約820m。

2002年から事業に着手し、仙台バイパス交差点から県道仙台北環状

# 身近な命を救うために

## 救急救命・急に人が倒れた時の対応

### 倒れた時の対応

急に人が倒れる原因はさまざま

ですが、最も生命の危機に瀕している状況を想定して速やかにアクションを起こせば、救える命は間違いなく増えます。仮にそれほど重症ではなかった場合には、少しストローグラウンドして落着いて対応すれば良いのです。

#### 突然の心停止

##### 一まずすべきこと

になつてしまつて、頭が真っ白になつてしまつたとしても、とにかく119番通報すれば大丈夫です。そうすれば、通信司令室の専門家がやるべきことを教えてくれます。スマートフォンをハンズフリーにすれば、心肺蘇生法の口頭指導を受けて処置を行ないながら救急車を待つことだつてできます。

す。とつさの出来事にパニックになつてしまつて、頭が真っ白になつてしまつたとしても、とにかく119番通報すれば大丈夫です。そうすれば、通信司令室の専門家がやるべきことを教えてくれます。スマートフォンをハンズフリーにすれば、心肺蘇生法の口頭指導を受けて処置を行ないながら救急車を待つことだつてできます。

#### 「3つのPUSH」とAEDの使用

そばにいる人がやるべきことを簡単に言い表すと「3つのPUSH」になります（図）。急に人が倒れて反応が無くなつたら、「①119をプッシュ」し、倒れた人の「②胸の真ん

中をプッシュ」し（押す深さの目標は5cm）、AEDが届いだら「③AEDのスイッチをプッシュ」することです。そして、もしAEDが「ショックが必要です。充電中です」→「ショックしてください」と言ったなら、恐れずに「通電ボタンをプッシュ」して、すぐに胸骨

圧迫を行つてください。もしあたときに嫌がる動きをするはずです。またAEDは「心室細動」をしつかりと判別しますので、間違つて不必要な電気ショックを行うことはありません。

たときには、胸骨を押しすぎます。細動」をしつかりと判別しますので、間違つて不必要な電気ショックを行うことはありません。

なさんの気持ちを「プッシュ」して、勇気を出して処置を行つてください。そのためにも、機会があれば救命処置の講習会に参加して、自分で体験して手技を覚えましょう。そうすれば、いざというときに身近な命を救うことにつながるでしょう。

#### 勇気を出して処置を実行

態は「突然の心停止」です。不整脈によつて心臓の筋肉がけいれんする「心室細動」に陥つている場合は、とにかくすぐに「胸骨圧迫」を始めて、そばにある「AED」を使う必要がありま



図：日本循環器学会HP  
(http://www.j-circ.or.jp/cpr/)より引用



## 市内12施設に寄付金 福祉施設の活動を応援

仙台建設業協会は2月12日、毎年恒例の社会福祉施設への寄付活動をことしも実施しました。環境福祉委員と事務局のメンバーが、仙台市内12カ所を巡り寄付金を届けて回りました。

この活動は、施設の運営や事業に役立ててもらうため企画しており、今回で26回目を迎えました。2月12日の寄付活動のうち、環境福祉委員会の菅原博委員長と青田茂雄専務理事は、仙台市青葉区にあるNPO法人・多夢多夢舎中山工房を訪問。大

越裕生施設長に寄付金を手渡しました。

多夢多夢舎中山工房では障がい者の芸術活動を支援しています。大越施設長によると、イラストがバランスボールなどのイベントで採用されることもあり、近年は他県から見学者が訪れることがあるそうです。大越施設長は「今の工房はプレハブなので、見学者に誇れる施設としつつ、利用者の安心・安全を守るために建て替える計画しています。寄付金はその資金として活用したいです」と謝意を示しました。

菅原委員長は「社会福祉施設の活動は、地域にとって必要不可欠です。今後も継続して応援し続けたいです」と話しました。

# 仙建協だより

## 春秋の清掃活動に参加 広瀬川1万人プロジェクト で千代大橋会場を担当



建設関係団体や企業が多数参加する「広瀬川1万人プロジェクト」が4月20日と9月28日に開かれました。仙台建設業協会も清掃活動に協力しました。

この活動は、流域の清掃を通じて、広瀬川の自然環境の保全と仙台のまちづくりに興味を持つもらうことを目的に、春と秋に実施。仙建協は、毎年協会を挙げて参加しております。ことしは春・秋共に千代大橋会場の運営を担当しました。

仙建協からは、環境福祉委員会の菅原博委員長らが中心となつて春に148人、秋は122人が参加。除草作業と清掃を実施し、タイヤや家電など大きなゴミも回収しました。作業終了後には、参加者から「活動中に地元の方から感謝する声を頂きました。あらためて社会に貢献する大切さを感じました」「今後も協力して、きれいな広瀬川の維持に貢献したいです」といった感想が寄せられました。

## 資源ゴミ回収通し 社会貢献

### 集団資源回収運動を初実施

回の回収を予定し、24日は試行として初めて実施しました。

資源ゴミは各企業単位で集め、回収日前日に集積先会社（13社）の指定場所に持ち込む流れとなります。

このうち、青葉区の集積会社となつた奥田建設は12社の持ち込みを受け入れました。前日のうちに集まつた資源ゴミは新聞紙や段ボールなどが中心で、同社敷地内から回収業者が手際よく4ントラックに積み込みました。

回収を担当した杜都資源の八重樫宗男代表によると、△新聞紙＝約700kg、△雑誌＝約300kg、△ダンボール＝約50kg、△シユレッダーにかけた紙ごみ＝約30kg――ほどの資源ゴミが集まりました。

奥田建設の和泉良栄品質・安全管理部長は「初回となる今回は、思ったよりも多くの資源ゴミが集まりました。収益を福祉事業に役立てるということで、とても良い取り組みだと思います。長く続けていきたいです」と力強く話しました。



## ★新事務局紹介★

ことし4月から新たに岩佐慎介さんが協会事務局に加わりました。

岩佐さんは主に一般事務の業務に加えて、安全パトロールや広瀬川の清掃活動、災害訓練、青田茂雄専務理事の補佐なども担当します。

「慣れないこともまだ多いですが、やりがいのある仕事だと感じています。会員の皆さんのが活動しやすいように仕事をまつとうしていきます」と意気込みを示しています。また、仙台が地元ということもあり「小さなことでもいいので、地元の発展やこれからの未来へつながる仕事に携わっていきたいです」と力を込めました。

このほか、青田専務理事、小野麻子さん、鶴谷侑子さんも引き続き日々の担当業務にそれぞれ当たっています。

岩佐さんを迎えて、新体制で事務局運営を行っていきます。



岩佐さん、小野さん、青田専務理事、鶴谷さん

# 災害時の地域間相互援助へ体制強化 19年度定時総会を開催



仙台建設業協会は5月9日、2019年度の定時総会を仙台市の江陽グランドホテルで開催しました。この中で、浜松建設業協会と締結した災害時の相互援助に関する協定に基づき、復旧作業援助者の宿泊や燃料輸送に関する覚書を関係団体と締結して体制をより一層整えることや、災害時の広域的な相互援助の重要性を広く発信していくことを報告しました。また、4週7休を目指す「休日月1+（ツキイチプラス）運動」などを推進する方針を示しました。

船山克也副会長は、東日本大震災の教訓を後世に伝えていく役割の重要性を強調したほか、担い手確保・育成に向け地元建設業の適正利潤確保を訴えていくとして、「関係団体や行政機関と連携しながら、より活力ある協会を目指すとともに、会員企業の持続的発展のために取り組んでいきます」と述べました。

19年度の事業計画には▽浜松建設協と締結した仙台市および浜松市における災害時の相互援助に関する協定の発信▽4

週7休を目指す「休日月1+（ツキイチプラス）運動」の推進▽浜松建設協と協定に沿って相互の支援体制を整えるため、復旧作業援助者の宿泊に関する覚書をホテル業界と、燃料輸送に関する覚書を燃料関係団体と締結▽10年以上休止していた仙台すづめ踊りを、協会として来年の青葉まつりへの参加を目標に復活▽共同受注や共同購買活動の支援▽災害廃棄物処理協定の作業体制整備▽行政機関への陳情▽労働災害防止に向けた活動や社会貢献活動などを盛り込んでいます。

## 7月

- 仙台工業高校【土木科】【建築科】現場実習受け入れ(3日間)
- 木建パトロール
- 2019年度第1回仙台労働基準監督署・仙台市合同安全パトロール
- 仙台建設業協会2018年度施工仙台市優良建設工事表彰
- 夏休み親子現場見学会
- 第1回仙台市との意見交換会
- 県仙台管内事務所との意見交換会
- 常任理事会・第154回理事会
- 第2回集団資源回収運動
- 「災害時における復旧作業援助者の宿泊に関する覚書」締結式
- 東日本高校土木教育研究協議会へ参加

## 8月

- 木建パトロール
- 第2回雇用・安全管理パトロール
- 仙台工業高校との意見交換会
- 環境福祉委員会見学会

## 9月

- 木建パトロール
- 仙台労働基準監督署・労安委員指導員意見交換会

- 建災防全国大会参加
- 広瀬川1万人プロジェクト・第28回一斉清掃(千代大橋)参加
- すづめ踊り仙建協祭連説明会・第1回練習会
- 第3回集団資源回収運動

## 10月

- 2019年度安全大会
- 常任理事会・第155回理事会
- 木建パトロール
- 第2回仙台市との意見交換会
- 宮城県土木施工管理技士会仙台支部現場見学会
- すづめ踊り仙建協祭連第2・3回練習会

## 11月

- 第32回仙建協ボウリング大会
- 木建パトロール
- 2019年度建設工事安全パトロール
- 仙建協懇親ゴルフコンペ
- 第4回集団資源回収運動
- すづめ踊り仙建協祭連第4・5回練習会
- 宮城県建設業協会全支部移動研修会

## 12月

- 宮城県建設業協会防災訓練参加
- 木建パトロール

# 建設業の仕事を体験 仙台工高生が現場実習

仙台市立仙台工業高等学校の生徒が参加する産業現場実習・インターンシップが、7月3日から5日まで行われました。仙台建設業協会から9社が受け入れに協力。生徒たちは座学や体験型の実習を通じて建設という仕事の一端に触れました。この実習は、2年生を対象に毎年実施しています。座学だけでなく、実際の現場

で測量や丁張りといった作業を体験します。実践的な経験を得ることで、現場で働くことの魅力を伝え、地域建設業の未来に貢献する人材を育成することを目的としています。仙建協では今回、建築科と土木科の生徒合わせて23人を受け入れました。このうち日建

工業には土木科の生徒3人が訪れ、初日に建設業の役割や安全の重要性などを座学で学んだ後、アスファルトブランケット工場で材料試験などを体験。2日目となる4日は、同社が施工している「塩釜亘理線(かさ上げ道路)舗装新設工事(5工区)」の現場で、監理技術者・現場代理人である齋藤英二氏らの指導の下、3Dレーザースキャナーやトータルステーションによる測量実習に挑みました。また、同現場ではICT建機やドローン測量の様子も見学しました。



参加した生徒は「学校で習ったことがない内容を学べて、土木の道に進みたい」という気持ちがより強くなりました「「アスファルト製造や施工計画のことを詳しく教えてもらいたい、もつと深く知りたいと思いました」などと感想を述べながら、実習に臨んでいました。

日建工業の伝野得男取締役業務本部長は「建設の仕事は一人ではできません。建設技術者には、現場のリーダーとして多くの人をまとめる『監督』の役割が求められます。ぜひ将来の選択肢としてほしいです」と呼び掛けました。

# 災害時に復旧援助者

## の宿泊場所を確保 の宿泊業と全国初の覚書締結

仙台建設業協会は7月3日、ビジネスホテルの運営などを手掛ける松月産業と「災害時における復旧作業援助者の宿泊に関する覚書」を締結しました。浜松建設協会との災害時相互援助協定に基づくもので、建設関係団体と宿泊業が覚書を締結するのは全国で初めての試みです。

仙建協と浜松建協は、今後想定されている南海（トラフ）地震などに備え、相互に協力し合うという協定を2018年9月に締結していました。この協定では発災時に要請の有無を問わず、会員企業が現地に駆け付けることになります。

松月産業との覚書は、協定に基づき仙台に来訪する浜松建協会員に向けて、宿泊施設を確実に提供することを目的に締結しました。

覚書では△仙台市内に来訪する援助者の宿泊に関し迅速にサービスを提供する△宿泊場所はホテルグリーンラインとする。ただし災害などで宿泊できない場合、もしくは宿泊室が不十分な場合、宮城県建設産業会館近くで同系列のホテルを用意することに努める

今中社長と深松会長(右)

△浜松建設業協会の会員会社の社員とする。ただし、宿泊可能な人数に余裕がある場合は、それ以外の援助者も含む」と定めました。

## 新しい顔ぶれ

(代表者変更)

2018年10月30日	東北共栄建設(株)
代表取締役 土山 拓	河北建設(株)
2019年5月25日	和彦
代表取締役 渡邊	東日本コンクリート(株)
2019年6月17日	修
代表取締役社長 山縣	高野建設(株)
2019年7月31日	裕之
代表取締役 高野	(株)ショウエー
2019年10月9日	雅宏
代表取締役 佐藤	

## 入会

2019年7月29日 ヤマトワーク(有)  
代表取締役 鈴木 伸俊

## 行事報告

(2019年4月～12月)

### 4月

- ・常任理事会・第153回理事会
- ・木建パトロール
- ・広瀬川1万人プロジェクト・第27回一斎清掃(千代大橋)参加

### 5月

- ・2019年度定期総会・懇親会
- ・5区役所災害応急措置協力会説明会
- ・木建パトロール
- ・宮城県土木部施工管理技士会仙台支部代議員会
- ・第1回雇用・安全パトロール
- ・第1回集団資源回収運動

### 6月

- ・仙台地区木造家屋等建築工事安全委員会
- ・仙台市防災訓練参加
- ・第27回定期会議並びに各社安全衛生担当者全体研修会
- ・木建パトロール
- ・災害時応急措置協力に関する協定説明会
- ・浜松建設業協会との覚書締結に向けた会議・現場視察

重ね、仙台青葉まつり本番に臨みます。練習当日は、会員企業などから36人の有志が参加。講師にすすめ踊り選抜チーム「伊達の舞」のメンバー5人を招き、踊りの基本姿勢の確認や、各楽器の練習などを行いました。



## 11年ぶりの参加 に向け始動

### すすめ踊り練習会

仙台建設業協会は、2020年度仙台青葉まつりでのすすめ踊り参加に向け、9月24日に初回となる練習会を仙台市宮城県建設産業会館で実施しました。仙建協がすすめ踊りに参加するのは11年ぶりとなり、来年5月までに18回の練習を

すすめ踊り事業担当委員会の笠原亨総務委員長（伸和興業代表取締役）は「協会の11年ぶりの参加に当たり、たくさんの方に集まつてもらいました。仙台の名物である青葉まつりに向け、大変なことも多々あると思いますが、楽しみながら来年の参加に向けて共に頑張りましょう」と呼び掛けました。

また、同委員会の後藤栄一担当副会長（後藤工業代表取締役）は「前回のメンバーでもあり、久しぶりの参加ということで、楽しみながら練習することができます。お祭りをみんなで盛り上げたいです」と意気込みを語りました。



発行所 一般社団法人 仙台建設業協会

発行 2019年12月

STAFF

■発行人／深松努 ■編集人／熱海義浩 ■編集スタッフ／三浦修・佐藤春基・土山拓・青田茂雄・小野麻子・鶴谷侑子・岩佐慎介  
■編集協力／建設新聞社 ■印刷・製本／建設プレス